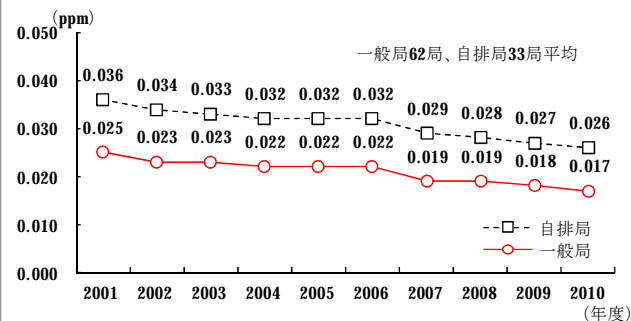


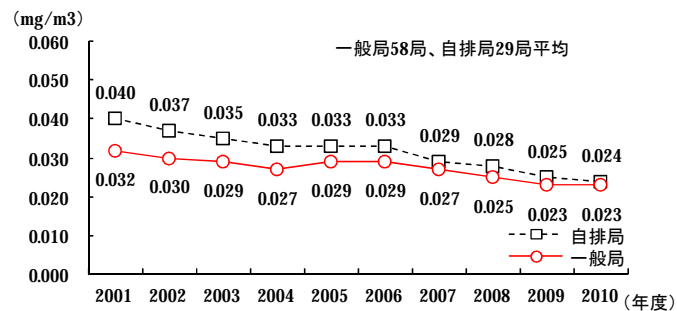
一般環境の状況

大気関係

○大気の状態については、2010年度は光化学オキシダントを除き、環境保全目標を達成している。



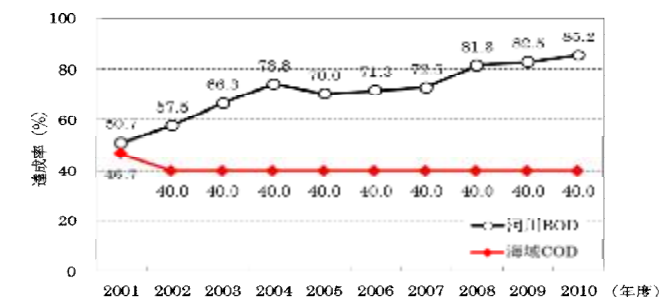
【二酸化窒素濃度の推移】



【浮遊粒子状物質濃度の推移】

水質関係

○水質の状況については、2010年度は河川BOD及び海域CODにおいて環境保全目標の達成状況は85.2%、40%と未達成の水域が残っているが、カドミウム等の健康項目は概ね達成している。



【河川のBOD及び海域CODの環境保全目標達成率の推移】

騒音関係

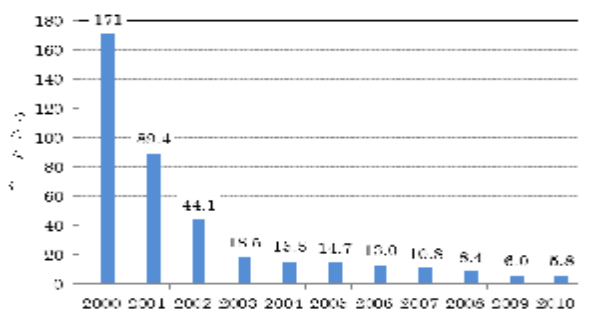
○騒音については、道路沿道における騒音に係る環境保全目標の達成率は上昇の傾向で推移している。

年度	昼・夜間とも基準値以下 (%)	いずれかの時間帯で基準値以下 (%)	昼・夜間とも基準値超過 (%)
2003年度 (436千戸)	73.7	9.7	16.6
2004年度 (438千戸)	74.5	9.3	16.2
2005年度 (575千戸)	84.4	6.0	9.6
2006年度 (597千戸)	85.1	6.4	8.5
2007年度 (612千戸)	87.9	5.9	6.2
2008年度 (654千戸)	88.9	5.2	5.9
2009年度 (643千戸)	91.9	3.7	4.4
2010年度 (815千戸)	91.8	3.5	4.6

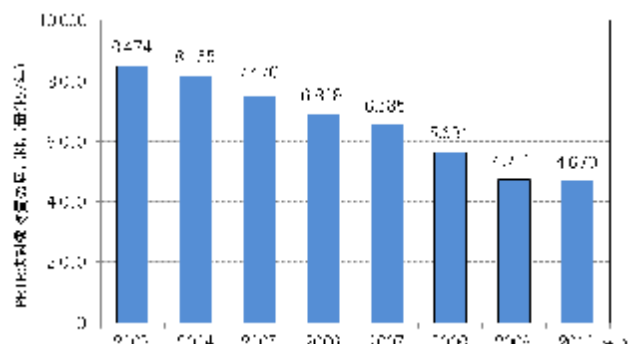
○昼・夜間とも基準値以下 □いずれかの時間帯で基準値以下 ■昼・夜間とも基準値超過

化学物質関係

○ダイオキシン類や化学物質の環境中への排出量は減少傾向にある。



【ダイオキシン類排出量の推移】



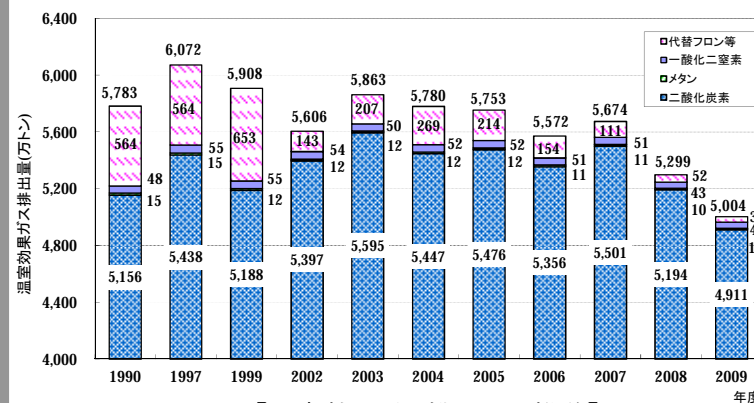
【PRTR法対象物質の届出排出量の推移】

※環境省調べ

省エネ・省資源等に関する環境の状況

地球温暖化・ヒートアイランド関係

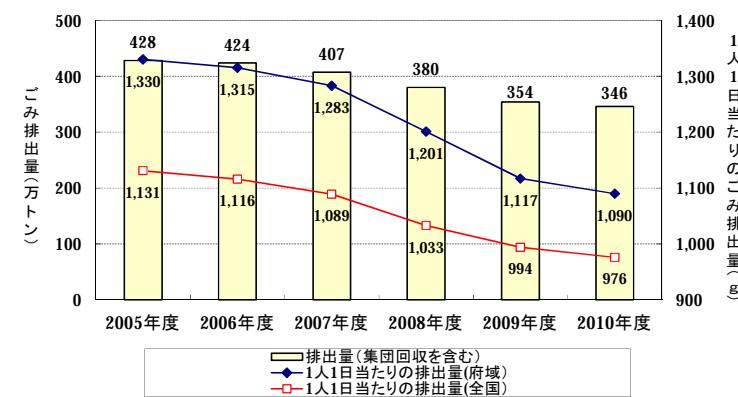
○温室効果ガスの排出量については、2009年度は、基準年度（1990年度）と比べ13.5%減少している。



【温室効果ガス排出量の推移】

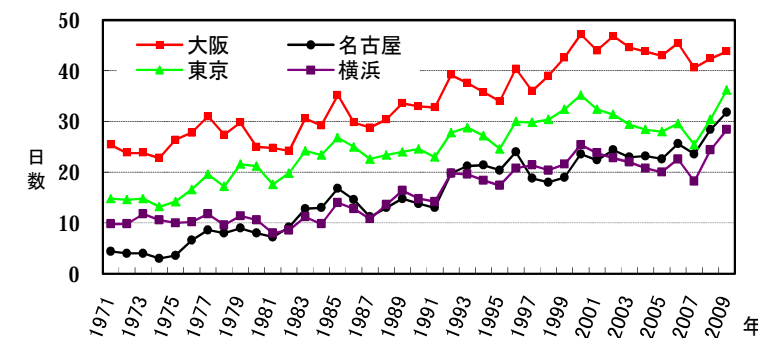
廃棄物の減量化・リサイクル関係

○一般廃棄物の排出量については、減少傾向にあり、2010年度における1人1日あたりのごみ排出量は2005年度と比べ18%減少している。



【一般廃棄物排出量の推移】

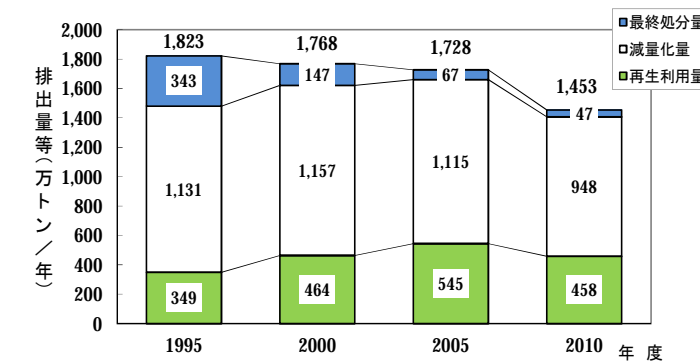
○大阪の熱帯夜数については、近年40日を越えているが、横ばい傾向にある。



【熱帯夜数の推移】

※熱帯夜：夜間の最低気温が25℃以上のこと
※5年移動平均による数値

○産業廃棄物については、2010年度の最終処分量は47万トンであり、2005年度と比べ30%減少している。

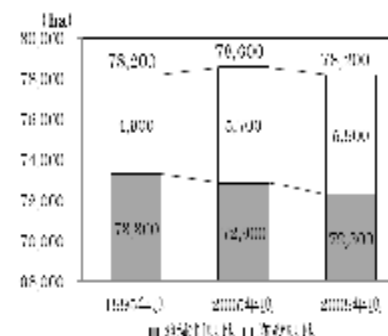


【産業廃棄物の排出量と再生利用量等の推移】

自然環境等の状況

緑地関係

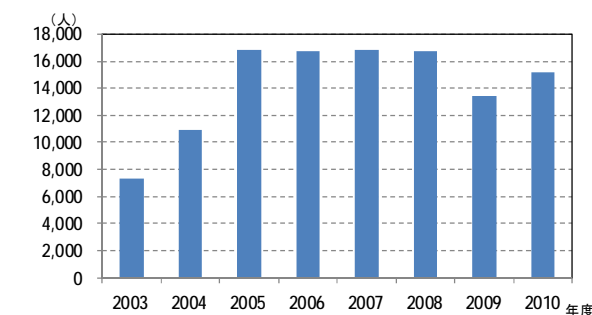
○緑地面積は、府域の約4割を維持している。



【緑地面積の推移】

環境活動への参画関係

○2010年度の環境情報プラザの利用者数は、2003年度に比べて倍増している。



【環境情報プラザの利用者数の推移】